

よくあるご質問

2026/3/19時点

区分	質問	回答
区分	質問	回答
共通	橋渡し研究内での重複は可能か	同一の研究内容に対する重複した資金配分は認められておりません。最終的な判断はAMEDによる確認結果に基づきます。
共通	他のSU支援拠点への重複申請は可能か	同時応募自体を妨げるものではございません。採択された場合にはいずれか一方をご選択いただきます。
共通	JST GAPファンドとの重複申請は可能か	制度上一律に不可とされているものではございませんが、研究内容や研究費の用途が明確に切り分けられている必要がございます。最終的にはAMEDの確認結果に基づき判断されます。
共通	他の競争的資金（例：AMED革新的がん事業）との重複は可能か	他事業との関係については、対象疾患、実施内容、研究段階等が明確に切り分けられている場合には応募可能と考えられます（例：一方で非臨床試験、他方で製造開発等）。ただし、実質的に同一研究とみなされる場合は重複と判断される可能性があり、最終的にはAMEDの確認結果に基づきます。
共通	GAPファンド（基礎寄り・単年度）でも重複になるか	実施内容が明確に区分されている場合には重複とみなされない可能性もございます。民間ファンドについては重複に該当しないケースもございます。
共通	シーズ同一性の判断基準は何か	研究テーマ名ではなく、対象疾患、作用機序、開発プロセス等を踏まえて総合的に判断されます。
共通	同一テーマでも切り分ければ申請可能か	研究内容や開発対象が明確に区分されている場合には申請可能なケースもございますが、最終的にはAMEDの判断によります。
共通	再委託は可能か	AMED事業では再委託は認められておりません。測定や試験等については外注として実施いただく形となります。
共通	大学への委託の扱い	主体的に研究を行う場合は分担機関として整理し、作業に留まる場合は外注として整理いただく必要がございます。
共通	計上可能経費は何か	研究開発費、人件費、外注費、知財関連費、事業化関連費等が対象となりますが、いずれもマイルストーン達成に直接必要な範囲に限られます。
共通	創薬と医療機器で優先度の違いはあるか	特定分野に重点を置いているわけではなく、実用化可能性等を踏まえて総合的に評価されます。
共通	社会実装までの期間が長いと不利か	期間の長短のみで評価が左右されるものではなく、マイルストーンの妥当性や達成可能性が重視されます。
共通	個別相談は可能か	特定日程に限らず、随時個別でのご相談にも対応しております。
共通	知財の扱いはどうなるか	発明者主義を基本としつつ、事業化を見据えて事前に契約等で整理いただくことが望まれます。
S0/S1	in vitro創薬モデルは対象か	医薬品・医療機器としての実用化を前提としない研究ツールの場合、本プログラムの対象外となる可能性がございます。
S0/S1	臨床試験は対象か	本プログラムでは主に非臨床～治験準備段階が中心となります。臨床試験については他事業との連携が想定されます。
S0/S1	PMDA相談は必要か	開発内容に応じてご検討いただく必要がございますが、医薬品・医療機器開発では早期相談が推奨されます。
S2	S2応募に共同研究は必要か	必ずしも共同研究契約の締結は必要ではなく、支援機関として参画する形となります。
S2	複数企業での応募は可能か	代表企業を明確にし、役割分担や体制等が整理されていれば複数企業での提案も可能です。
S2	起業5年以内の要件はいつ判断か	応募時点を基準として判断されます。6期目の場合は要件外となる可能性がございます。
S2	出資額に制限はあるか	出資額のみで応募可否が決まるものではございませんが、シード～アーリー段階であるかが考慮されます。
S2	事業ステージ的に応募可能か	VC出資や売上がある場合でも応募可能ですが、事業ステージは審査上考慮される場合がございます。
S2	応募主体は誰か	S2ではスタートアップの代表取締役が代表者となることが基本とされております。